



うみ 議会だより



学校って
おもしろそうだね

うんそうだね!

No. **41** 2011.5.13 発行 福岡県宇美町議会 3月定例会

当初予算 限られた予算を有効に ②

一般質問 町政を問う ⑦

委員会レポート ⑪

3月定例会

3月9日から24日までの会期で開催されました。

町長・教育委員会行政報告がありました。

議案は、町道路線認定案1件、工事請負契約締結の議決内容の一部変更案1件、条例案3件、予算案11件、計16件すべて可決しました。

一般質問は7議員10項目の質問がありました。

決議案1件を審議しました。

町道路線の認定

周辺農地の開発等による宅地化に伴い、歩行者や車両の通行が増加し、道路改良を図り、総延長150メートルの早見13号線を町道に。

(全員賛成で可決)

平成21年度 神武原地区

水路災害復旧工事の法面増工

法面工の増工等に伴い180万6千円増の5,348万7千円で工事請負契約の変更を行う。

(全員賛成で可決)



最終処分場2期工事基本計画



子ども読書の日(4月23日)

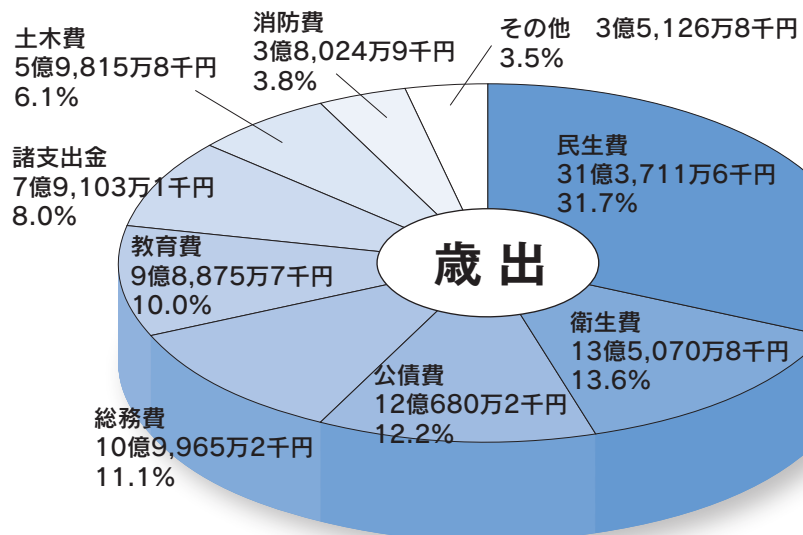
「コミュニティの維持」「ゴミ処理コストの低減」「読書活動」

円の骨格予算全員賛成 可決

又は、現年度分の個人町民の決算見込額を4,165万9万円。

でも同様に決算見込額を764万円になると推計された状況が想定される。

の経常的事業における事業管理できるように、課別の入している。



住民基本台帳カード等の普及を図る

住民基本台帳カード等の交付手数料無料と自動交付機による証明書の手数料減額の期間を平成25年3月31日まで2年間延長する。

(賛成11…反対2)

宇美町行政9課体制から11課へ

第5次総合計画の策定、基本構想に掲げる基本理念「再生のまちづくり」「まなびの森に育む地域力で築く共働のまちづくり」を実現するため行政組織機構を再編。

「共働のまちづくり課」「子育て支援課」を新設。

- 総合政策経営課
- 総務課
- 共働のまちづくり課
- 税務課
- 住民課
- 健康福祉課
- 子育て支援課
- 環境課
- 産業振興課
- 都市整備課
- 上下水道課

平成23年7月1日から施行する。

(賛成11…反対2)

限られた予算 を有効に！



登山道・観光マップ作成

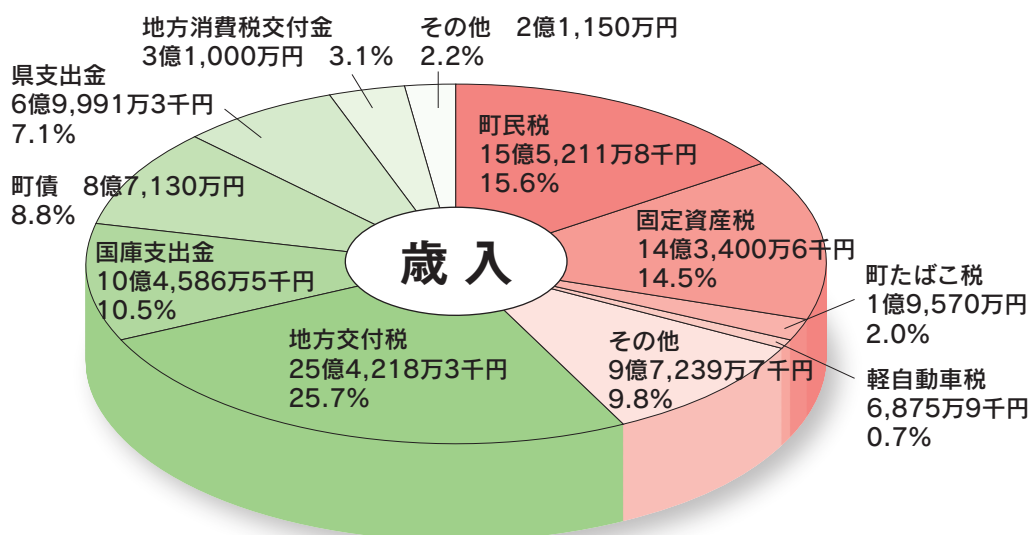


自治会美化活動

重点 施策

「効率化・省力化」「雇用創出」「地域コミュ

平成23年度 一般会計 99億



平成23年度の税収は、平成22年度に比べて13億1,540万円下回る13億1,540万円。また、法人町民税は494万円下回る2億4,940万円。これらを含め、今後も厳しい財政状況の中、一般財源ベースでの歳入確保と、経費総額を複数年度で抑制し、「枠配分予算」を導入する。

依存財源 57.4%

自主財源 42.6%

平成23年度
当初予算

3月定例議会

会計区分		当初予算	採決
一般会計		99億 0,374万 1千円	全員賛成
国民健康保険		45億 5,508万 3千円	賛成11人:反対2人
後期高齢者医療保険		3億 1,948万 5千円	賛成11人:反対2人
流域関連下水道事業		12億 5,951万 1千円	全員賛成
上水道	収益的支出	6億 2,733万 6千円	全員賛成
	資本的支出	4億 2,788万 8千円	

平成22年度
補正予算

補正予算審査	補正額
●在宅老人介護手当助成事業	246万円増額
●老人ホーム入所措置費	421万円減額
●国庫支出金返還金	169万円減額
●国民年金事務関係費	12万円減額
●県介護保険広域連合負担金	1,716万円減額
●乳幼児医療費	635万円増額
●学童保育運営委託	123万円減額
●子ども手当	779万円減額
●妊婦検診委託料	679万円減額
●RDF処理委託料	5,178万円増額
●ごみ処理用指定袋等製作費	245万円減額
●最終処分場2期工事基本計画書等作成業務委託料	900万円減額
●合併処理浄化槽設置整備事業補助金	179万円減額
●宇美町・志免町衛生施設組合負担金	
・宇美志免浄化センター管理費	578万円減額
・宇美志免リサイクルセンター管理費	1,580万円減額
●農業振興推進事業費	200万円減額

会計区分		補正額	補正後の予算	採決
一般会計		▲1億0,255万6千円	101億2,872万4千円	全員賛成
国民健康保険		▲1,798万8千円	41億0,676万1千円	全員賛成
後期高齢者医療保険		▲437万3千円	2億9,602万6千円	賛成11人:反対2人
流域関連下水道事業		▲6,750万6千円	11億6,747万6千円	全員賛成
上水道	収益的支出	▲881万7千円	6億1,890万0千円	全員賛成
	資本的支出	▲4,311万5千円	3億0,063万8千円	

きめ細やかな・住民生活に光りを注ぐ交付金活用

平成23年第1回臨時議会 平成23年2月8日開催

平成22年度一般会計補正予算 9,835万円を追加

可決!



ひばりが丘3丁目地内
法面補修工事 **2,205万円**



子宮頸がんワクチン接種
ヒブワクチン接種
小児肺炎球菌ワクチン接種事業
2,074万4千円



六反田堰開閉機取替工事
164万5千円



林道割石支線2号整備工事
900万円



ゆりが丘6丁目地内
排水路補修工事 **450万円**



中ノ原池斜樋改良工事
525万円



林崎歩道橋改修工事
1,000万円



四王寺坂地内排水路補修工事
500万円



学校図書館支援事業
500万円

あれはどげん なっとりますと??



防災対策は万全か
～一般質問のその後～

「安全安心まちづくり」

防犯強化

住民と行政の協働で平成16年6月事業開始した「みるみるウォーク事業」230名を超える協力員の登録があり、子ども達の登下校時の見守りや通学路等の危険箇所の情報を町に提供して頂いています。

防災対策

災害時には自助7割・共助2割・公助1割 住民の自主防災組織の輪を!

宇美町には将来地震を発生させる可能性がある活断層「宇美断層」があり、宇美断層が分布する福岡市東区から筑紫野市にかけて東側に西山断層、西側に警固断層が分布している。宇美断層の活動がないとしても、周辺活断層の活動により大きな揺れに見舞われることが予想され、地震に対する備えが必要になる。

宇美町では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第4条に基づき、国、県と連携し、建築物の耐震診断および耐震改修の促進を図るため、「宇美町耐震改修促進計画」を平成22年度事業として策定。

水防用資機材の整備は平成23年3月末までに、国の社会資本整備総合交付金で防災倉庫(12フィートドライコンテナ)を設置した。倉庫内には、土嚢をはじめ棒杭、ブルーシート、ウォーター・ゲート、救助工具箱セットなどの備品を収納し、非常時に備える。

(防災倉庫設置場所)

- 役場農林倉庫横
- 役場建設課裏
- 消防団1分団倉庫横
- 消防団2分団倉庫横
- 消防団6分団倉庫横
- 消防団7分団倉庫横
- 消防団10分団倉庫横
- 平成区公民館敷地内
- 光正寺古墳公園駐車場横
- ひばりが丘入口交差点横
広場



防災倉庫

「東日本大震災」

支援に向けての決議

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は巨大地震、大津波、原発炉心溶融など、国内観測史上最大の地震とそれに誘発した未曾有の大災害であります。

宇美町議会は町民を代表し、今回の地震と津波によって犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災地の方々に心からお見舞いを申し上げます。今回の超巨大な地震・津波、その後に続く余震などに対して、いま緊急に求められているのは、命の危険にさらされている方々、行方不明の方々の救助と捜索を行うこと、原発災害や二次被害の危険を除去するために全力をあげることです。救援の手が遅れて被害が増えることがないよう迅速な対策が求められています。

そのために政府があらゆる対策を尽くすことと、被災地の方々の実態と要望に応える緊急対策を強く求めるものです。

本町議会は、今回の地震・津波・原発災害で被害を受けた方々を支援するために、物心両面でのあらゆる支援を全町民へ呼びかけるとともに、本町議会も被災地の方々の苦難に思いを寄せ、町民の先頭に立つて全力で支援を行うことを決議します。

(平成23年3月16日)

全員賛成で採択

宇美町議会は議員個人から徴収し、義援金30万円を平成23年3月18日付において日本赤十字社に寄託しました。

Q&A 一般質問 町政を問う

古賀 ひろ子 議員



保育サービスの充実を

子育て支援

町長：育児相談等の支援拠点に

古賀 うみつ子未来プランは平成22年度から5年間で取り組む後期行動計画だが、保育ニーズにどう応えていくのか。入園予約制の導入で早期に入園決定し職場復帰への不安の解消は。

の確保と空き部屋等の課題があり難しい。
古賀 兄弟姉妹が同じ保育園に入園でき、保育園の送迎や行事の参加、保護者の負担の軽減は。
町長 年度途中で空き園がなく別々の園に3世帯が通園している。新年度には一緒に入園できるように配慮したい。

解消は。
町長 本町では、原田保育園で一時保育を実施し、子育て疲れやリフレッシュに対応している。各保育園が地域の子育て拠点となるよう育児相談等の機能を充実する。
古賀 保育園の民営化検討委員会の協議経過の進展は。
町長 有識者や関係機関、保護者の代表等と協議しているが、方向性を示すまでに至っていない。様々な視点から慎重に検討を進めていく。



▲元気一杯！

安心して暮らせる町づくり

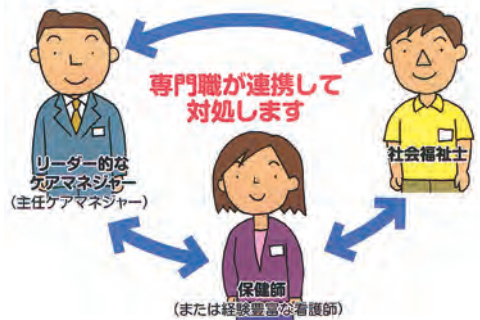
高齢者対策

町長：介護サポートは
役場窓口で



西依和彦議員

西依 日本は世界に類を見ないスピードで超高齢化社会に入り、65歳以上の人口割合は2055年に4割を超えると推計されている。平成23年4月には「日常生活圏域ニーズ調査」が行われる。本事業の目的、実施内容、実施主体、年齢



▲介護予防の拠点

区分などは。町長 地域の実情に合った介護サービスの提供、介護リスク等の指標把握、必要なサービスの種類、量を見込み居宅、施設介護、地域介護、密着型介護などを策定し決定する。介護保険者が年齢65歳以上の15%を対象に現在検討中である。3月の広報うみで周知している。

西依 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、さまざまな相談ができる総合窓口「地域包括支援センター」の所在は、久山町役場横に事務所があり、ケアマネジャーへの支援などを行っている。また、介護サポートセンターを役場窓口を設置し、社会福祉士等が相談に応じている。

西依 脳卒中は、要介護が必要になる原因の第一位となっている。予防対策の取組みと今後の課題は。

町長 要支援、要介護状態となる恐れのある人を対象に運動機能向上など予防教室を実施。65歳以上の全高齢者を対象に、健康相談、男の料理教室、出前講座等を実施している。

建て替えか 改築の計画は

くすの杜

町長：今後、検討したい



垣内京子議員

垣内 昭和54年にオープンした老人福祉センター「くすの杜」は、すでに築31年を経過している。町内の施設の中で、稼働率は一番多い。「建て替えの要望」は以前より出ていたが、団塊の世代の退職等により手狭さが切実に



▲高齢者憩いの場

なっていく。利用者の声は「浴室特に脱衣所が狭い」「学習室が小部屋ばかりで狭い」など。施設の建設に補助金が付かない現在、町単独で建て替えるか改築をすべきと思うが、町の考えは。

町長 くすの杜は国の補助金で建設した。耐用年数は47年で、残存価格が残っている。利用者は平成21年度で3万7,218人と

年々伸びてきている。平成23年度に管理棟を解体して駐車場を整備する。大地震の後で交付税等が本年度並みにくるのか懸念される。今、宇美町公共施設再編計画を作成中だ。耐震診断も含めて今後どうするか検討したい。

その他の質問 ●町税等の滞納状況について

道路整備と 公共施設の耐震化

都市基盤

町長：鋭意努力する

飛賀 貴夫 議員



飛賀 都市計画道路志免・宇美線及び土井・宇美線の進捗状況は。
町長 志免・宇美線の用地買収は平成22年度中に95%を超え、平成23年度中に100%確保できる見込みである。
平成22年度、県の総事業として補助事業5億2,900万円、単



▲中央公民館

独事業、961万円、合計5億3,861万円の事業費で、町の負担金は、補助分6分の1、単独費4分の1で合計9,057万円になる。
土井・宇美線の用地買収は、平成22年度末の見込みで面積積4,719㎡に対し、70.9%である。
橋梁工事は、平成24年度秋口の濁水期に下部工、平成25年度に上部工と残りの道路整備の予定で鋭意努力する。
地権者の皆様方には多大なご協力を得なが

ら事業を進めている。

飛賀 学校施設の耐震化は終了したが災害時の避難場所に使われる他の公共施設の耐震化は。

町長 中央公民館は、平成23年度に耐震工事の予定。住民福祉センターは、平成23年度に耐震診断、その結果で耐震改修促進計画に基づき進めていく。

●その他の質問
自動体外式除細動器(AED)の普及について

鳴海 圭矢 議員



住宅リフォーム 助成制度を

産業振興

町長：今後、調査研究する

鳴海 住宅リフォーム助成制度とは住宅をリフォームする際、自治体が費用を一部負担する制度である。

既に各地で実施され、雇用の創出、地域経済の振興等に効果をあげている。
粕屋町でも予算を組む予定である。

この議題については何度か取り上げてきたが、この間の状況の変化を踏まえ実施している自治体の実態、経済効果等を真剣に調査、研究するべきではないか。

町長 町が特定の個人の資産を増加させる事は、今の財政が厳しい中では予算化が困難である。

リフォームに関わる業者以外の救済にはなりにくい。
補助を受ける人の優先順位の決定が難しい。
仮に制度を導入した場合、制度終了後の個

人投資の落ち込みが懸念される。
制度を悪用した業者の被害の問題が予想される。

以上のことからこの制度を導入するには更に検討していく余地がある。

鳴海 近隣の町で制度に取り組んでいる事について、どのように考えるか。
町長 十分、今後調査研究する。

●その他の質問
TTPPが町に与える影響



▲住宅リフォーム

医療費増加の対策は

医療保険

町長：特定検診受診向上



犬塚 齊議員

犬塚 町の健康保険事業会計は年々拡大し、赤字財政状況で一般会計より繰り入れて運営している。
増加の原因が、長期入院、薬の調剤にあると思われるがどうか。
町長 診療形態の区分は、入院・外来・歯科・調剤。平成22年3月か



▲特定検診受診者

ら平成22年11月末で、入院は227件である。
犬塚 患者、病院の対応で減少すると思われるが、適正な医療行為かどうかレセプト点検等で医療機関の調査、指導はできないか。
町長 町は医療行為に対する調査・指導の権限はない。
厚生労働省（九州厚生局）県の保険医療介護部で指導、会計検査院でも不正請求等の調査を行っている。
犬塚 特定検診の受診率が低い保健指導はどうなっているのか。

町長 対象者は40歳～74歳までの国保被保険者で約6千名である。
健康福祉課と協力して保健指導を行っている。
犬塚 医療費の支払いが適正かどうか、レセプト点検は。
町長 国保連合会の第1次審査後、町では縦覧点検、突合点検といった方式で第2次審査も行っている。
今年5月から国保連合会でシステムが電子化され、医療費の削減効果が出てくるのではないかと期待している。

税制改革

町として政治の行きづまりをどう打開できるか

町長：国の動向を注視



山野 芳則議員

山野 出口の見えない「閉塞感」の中の日本。とくに経済の停滞には、多くの住民が不安感をいだいている。
町長行政報告でも平成23年度個人町民税は前年度決算見込みを4千万円超下回ると推定し、厳しい財政状況が続くと想定している。

民間給与が連続して減らされる中、町税等の収納率向上が見込めるのか。賃上げこそ必要では。

社会保障・税金ともこれ以上の住民負担は無理。「大企業のためこみを国民本位に使うルール」を。

税制等の不合理を廃し、町として大資産家等へのいきすぎた減税にメスを入れる努力を。

町長 個人所得が減少する中、徴税等の税収

の確保は厳しい。前年並みの収納率を確保できるように対処したい。賃上げが必要な事は認識を同じとするとこるであるが、あくまでも企業の判断である。企業の内部留保、税制については一地方自治体が扱うのは無理であるが研究等していきたい。

そのほかの対応としてはあくまでも国の動向を注視するしかない。



▲国会議事堂

町の重要な問題を調査・研究

委員会報告



総務文教常任委員会

- 委員長 犬塚 齊
副委員長 垣内 京子
委員 櫻木 悟
委員 山野 芳則
委員 古賀ひろ子
委員 飛賀 貴夫

総務課

宇美町ホームページを刷新

◆平成23年1月4日から新ホームページが公開された。3町共同のシステム導入により、ホームページ掲載までの手順が簡素化され、よりスピーディーに情報発信が可能となった。利用者の立場でホームページを活用できるように要請した。

町内の火災等の対応は

◆過日発生した火災やボイラー事故などの対応について質した。消防署・警察署や労働基準局と連携を図り、安全安心な町を目指すよう要請した。

学校教育課

35人以下学級の導入

◆新学習指導要領の本格実施や、いじめ等の学校教育上の課題に適切に対応し、教員が子ども一人一人に向き合う時間を確保することにより、子どもたちの個性に応じたきめ細やかで質の高い教育の実現が急務。このため、35人以下学級については、平成23年度は、小学1年生について制度化する報告を受けた。



▲宇美小学校

建設厚生常任委員会

- 委員長 藤木 匠
副委員長 西依 和彦
委員 岸本 光男
委員 松下 弘毅
委員 藤野 莞嗣
委員 中市 和博
委員 鳴海 圭矢

上下水道課

優先順位を決めて

◆宇美町の下水道普及率は、全人口の85・4%に達しているが、今後は優先順位を決めて整備を進めていく。

建設課

今後の主な工事

◆ひばりが丘43号線、四王寺坂の溢水対策工事など6箇所が予定されている。

住民課

暫定期限平成23年3月末

◆39万円の出産育児一時金が恒久化された。

健康福祉課

平成23年度 入園申請

◆保育園（5園）合計で、定員600名に対し、639名の見込みになっている。
柳原保育園の約94%を除き他の4園は全て定員を超えている。



▲園内で遊ぶ子どもたち



みんなの広場

東日本大震災で被災した子どもたちへ

平均年齢70歳のフラガール達が立ちあがる!!
ハンドパペットを贈りたい

小さな子どもたちにとって、今回の地震と津波は、どんなに怖く、悲しい体験だったか図りしれません。

余震が来るたび泣いている子、大人の洋服をつかんでいないと眠れない子、暗くなると泣く子など、そんなニュースを目にしました。

人が生活していく上では、食べ物や水はもちろん大切ですが、子どもたちには安心できる心のケアが必要です。

そこで、軍手とタオルで作れるハンドパペット(手を入れて遊ぶぬいぐるみ)を贈りたいと考えました。

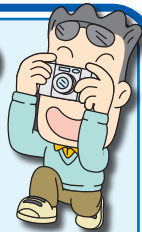
寂しい時、不安な時に、話しかけられる友達がいれば、きっと笑顔がもどると思います。「何か役に立ちたい」という想いで、フラダンス教室の仲間からスタートした企画ですが、各種団体に共感の輪をひろげ、目標500体のハンドパペットを製作しています。

みんなの心のこもったハンドパペットが完成したら、宇美八幡宮で東北地方の子どもたちの幸せと健康を祈願して贈りたいと思います。

発起人 ひばりが丘2区
フラダンスサークルの
フラガール



議会だよりの 掲載写真 募集中!



●テーマ

まちで見かけたステキな風景、心温まる情景、紹介したい催しなど。

※必ず被写体本人の承諾を得てください。
※詳しいことは、議会事務局にお問い合わせ下さい。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか!

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。

複雑な手続きは必要ありません。

役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、6月中旬に開会予定です。

※ 詳しくは5月下旬に宇美町議会事務局(TEL092-934-2248)までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスが変更になりました。
gikai@town.umi.lg.jp